

林業ミニ情報 No.136

平成28年7月

- 1 ひたち林業探検少年団の入団式と第1回活動について 1
(常陸太田林業指導所 塚原)
 - 2 道の駅みわ北斗星で「ウッドクラフトフェア美和」が開催される ...1
(大子林業指導所 長山)
 - 3 森林ボランティア「古内森を守る会」が下刈り活動を実施2
(笠間林業指導所 菊池)
 - 4 神栖市土合小学校で森林・林業教室を実施3
(鉾田林業指導所 仲野)
 - 5 つくばインターナショナルスクールの新校舎整備について3
(土浦林業指導所 寺田)
- 〔林産情報〕 素材・製材品価格及び新設住宅建設の動向6
(林業技術センター 益子)

1. ひたち林業探検少年団の入団式と第1回活動について

去る5月22日(日)に、ひたち林業探検少年団の入団式と第1回活動が行われました。ひたち林業探検少年団は日立市内の学校に通学する小・中学生で構成されており、NPO法人「森の自然学校助川山保全くらぶ」の南卓夫団長の指揮のもと、月1回程度の活動をしています。

今年は小学2・3年生の6名が入団し、中里スポーツ広場で行われた入団式で団員証を授与された子供たちはとても嬉しそうにしていました。その後、団員が一人ずつ自己紹介をし、入団した理由や活動に対する意気込みについて発表しました。

入団式の後、早速第1回活動が行われました。最初に、当林業指導所の林業普及指導員が、森林が土砂崩れや洪水を防いでいることや森林の手入れをすることの大切さなど、森林と林業に関する講話を行い、団員たちは真剣に耳を傾けていました。

講話の後、すぐに御岩神社の3本杉の見学に向かいました。3本杉を見た団員たちは大きさにとても驚いており、日立市教育委員会の小室氏の説明を興味津々に聞いていました。

当林業指導所では、引き続きひたち林業探検少年団の活動を支援していくとともに、小・中学生等に森林・林業に関心や興味を持ってもらえるように努めていきたいと考えています。



入団式の様子



3本スギの説明を聞く団員

(常陸太田林業指導所 塚原 洋明)

2. 道の駅みわ北斗星で「ウッドクラフトフェア美和」が開催される

去る5月1日(日)に、常陸大宮市の「道の駅みわ北斗星」において木の駅プロジェクトを運営する「森と地域の調和を考える会」(代表 龍崎 眞一氏)と常陸大宮市の共催により「ウッドクラフトフェア美和」が開催されました。

今回のフェアは初の試みであり、「森と地域の調和を考える会」では、森林資源を活用し木工品の開発と地元(旧美和村)の間伐材を有効に利用したいとの思いから、3月に開催した「木で作る暮らしの道具コンテスト」の入賞作品の展示と、工夫を凝らして制作した置時計や花瓶、お椀などの木工品の展示販売を行いました。

これに併せ、当林業指導所では木の温もりを広く知ってもらうために、ヒノキの間伐材で箸づくり体験を実施しました。

当日は天気にも恵まれ、また、ゴールデンウィーク期間中であったこともあり、家族連れなど多くの方々が訪れました。箸作りを初めて体験される方も多く、初めはカンナの使い方に戸惑いも見られましたが、慣れてくるとリズミカルにカンナを動かし、完成すると「自分で作ったお箸で家族が食卓を囲めることはとても嬉しい」という声を聞くことができました。

また、削った時に出るカンナクズは、とても良い香りがして好評だったため、車内やお風呂などで香りを楽しめることを説明すると、喜んで持ち帰る人もいました。

なお、体験される際に「いくらですか」と聞かれることも多く、無料であることを説明すると「明日もやっているのですか」「来年もやるのですか」などの質問もあり、来年度以降の継続に向け大きな手ごたえを感じました。

当林業指導所では、県民の多くの方々に木材に触れ木の良さを知ってもらえるよう、このような体験を継続して行こうと考えています。



会場の様子



箸づくりの様子

(大子林業指導所 長山 洋一郎)

3. 森林ボランティア「古内森を守る会」が下刈り活動を実施

去る7月23日(土)、城里町の森林ボランティアグループ「古内森を守る会」(加藤隆文会長)が同町小坂地内の桜植栽地で下刈り活動を実施しました。

このサクラ植栽地は、「いばらきの森林づくり活動推進事業」を活用して(一財)日本自動車研究所城里テストセンター所有地内の約0.6haのフィールドに平成17年10月に町民や緑の少年団などが参加し、ソメイヨシノやヤマザクラなどの苗木115本を植栽した場所です。

植栽翌年の8月には、地元のボランティアが植栽した苗木の下草刈り作業を行ない、その時の参加者が発起人となり、「人々の生活に深い関わりがある森林を、少しでも健全なものにして後世に引き継ぐこと」を目的とし、平成19年3月に「古内森林を守

る会」が発足しました。

当日は、会員ら 9 名が参加し、最初に当林業指導所の林業普及指導員が、刈り払い機の操作や作業に当たっての注意点等について安全指導を行った後、作業に入りました。曇り空で風もあり下刈り作業をするのには良い条件でしたが、作業が進むにつれ皆さん汗びっしょりとなり、熱中症にならないよう水分と塩分を十分取りながら約 2 時間半で作業を終了しました。



下刈り作業の様子

また、下刈り終了後には、同会の総会が開催され、審議の結果、全て原案通り承認されたほか、現在の会員は 60 代から 70 代と高齢化が進んでいるため、若い会員の加入促進を図っていく事としました。

当林業指導所では、今後とも同会の活動が継続されるよう技術的な指導や情報を提供するなど、積極的に支援・指導してまいります。

(笠間林業指導所 菊池 正浩)

4. 神栖市土合小学校で森林・林業教室を実施

去る 6 月 28 日、神栖市立土合小学校の 5 年生 38 名を対象に当林業指導所の林業普及指導員による森林・林業教室を開催しました。

森林・林業教室は、森林・林業体験学習事業の一環として、児童に森林・林業に対する理解を深めてもらうことを目的に実施したもので、当日は、世界や県内、さらには神栖市の森林の現状等について講義を行ったあと、木工工作の体験を行いました。

講義では、日本の森林率が 67 % と高く、先進国の中で第 2 位である一方、神栖市の森林率はわずか 3 % しかないこと等を説明すると子供達は皆驚いた様子でした。



講義の様子

また、木工工作体験では、ヒノキの間伐材から作った木地をカンナで削った後、紙ヤスリを使ってお箸を作りました。

最初は、カンナの使い方に手間取る児童も多くいましたが、最終的には全ての児童が無事にお箸を完成させることができました。児童たちは、一様に「楽しかった」と

話しながら、自分で作ったオリジナルのお箸を大切にそうに持ち帰っていました。

今回の森林・林業教室に参加した子供達はもちろんですが、子供達が家に帰り家族と話しをすることによって、森林・林業に対する理解が益々広まることを期待しています。

(鉾田林業指導所 仲野 繁)



箸づくりの様子

5. つくばインターナショナルスクールの新校舎整備について

学校法人つくばグローバルアカデミーが運営するつくばインターナショナルスクール（つくば市上郷地内）では、「いばらき木づかい環境整備事業」を活用し、県産材をふんだんに使用した木造 2 階建ての新校舎を整備したので紹介します。

同校は当初、初等教育課程 5 年，中等教育課程 5 年の全 10 学年で開校しましたが，平成 26 年度には幼稚園・保育園から高校相当までの教育課程を網羅する全 15 学年に拡大したため，校舎を増設することとしました。

増設する新校舎は，周囲の緑あふれる豊かな自然と調和するようログハウス風として，1 階部分は丸太組工法，2 階部分は軸組工法を採用し，使用した木材は，茨城県産のスギを中心に全て地域材としました。延床面積は約 1,200 m²，木材使用量は約 320 m³となっています。

新校舎は，5 つの普通教室の他に，補助教室や実験室，科学室，ホール，音楽室等で構成され，1 階部分は，壁に準耐火認定の太い角ログ（140mm × 150mm）を使用したことで，防火性能や耐震性能が高く，見た目も，肌触りも木の良さを十分に感じることができます。

このような県産材をふんだんに使用した新校舎を利用することで，児童・生徒はもとより，保護者や地域の方々にも木に触れる機会を提供することとなり，木の良さや



新校舎の外観



校舎内部の様子

木材利用の意義について普及啓発されることが期待されます。

当林業指導所では、今後とも、木造公共施設の整備を推進していきたいと考えています。

(土浦林業指導所 寺田 好範)

〔林産情報〕

茨城県の素材・製材品価格(平成28年)

単位：円/m³

区分	樹種	規格	区分	H27年 平均	H28年 5月末	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
国産材	スギ	3.00×14~20	柱材	11,300	10,900	13,400	11,700	10,600	9,300	9,400									
		3.65×16~28	中目材	10,700	10,300	11,200	10,600	11,100	10,300	9,400									
		4.00×8~13	小径材	12,000	11,600	14,100	13,100	11,600	10,200	9,000									
	ヒノキ	3.00×14~20	柱材	14,300	14,000	15,400	15,300	14,600	14,300	13,600									
		4.00×16~28	中目材	16,000	15,500	16,900	16,200	15,300	14,900	14,400									
		4.00×8~13	小径材	12,100	10,900	12,800	11,600	9,900	11,300	8,900									
外材	米マツ	6.00×30	No.3	-	32,200	-	-	-	32,200										
	米ツガ	6.00×30	No.3	-	26,700	-	-	-	26,700										
	北洋エノマツ	3.8×20~28	込み	-	23,700	-	-	-	23,700										
製材	スギ	3.00×10.5×10.5	柱・KD特	-	63,000	-	-	-	53,000										
		4.00×10.5×10.5	柱・KD特	-	68,000	-	-	-	68,000										
		3.65×1.4×10.0	ヨキ・グリーン特	-	42,000	-	-	-	42,000										
		3.65×3.6×4.5	ヨキ・グリーン特	-	40,000	-	-	-	40,000										
	ヒノキ	4.00×9.0×9.0	ヨキ・グリーン特	-	35,000	-	-	-	35,000										
		3.00×12.0×12.0	柱・KD特KD特	-	60,000	-	-	-	60,000										
	外材	米マツ集成材	4.00×12.0×24.0	梁・桁・KD特	-	60,000	-	-	-	60,000									
		米ツガ	4.00×12.0×12.0	梁・桁・グリーン特	-	68,000	-	-	-	68,000									
		欧州アカマツ	300×4.0×3.0	野巻・内巻KD	-	68,000	-	-	-	68,000									
		レッドウッド集成材	3.0~6.0×10.5×16.0~36.0	梁・桁・集成材	-	68,000	-	-	-	68,000									

注)

外材の素材及び製材品は区分の見直しが実施されたため、4月以降分を掲載。
国産材の素材価格は5月末、外材の素材・製材品は4月末現在。

茨城県の新設住宅建設の動向

単位：戸

区分/月別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計	
27	着工数	1,623	1,795	1,862	1,772	1,782	2,134	1,957	1,886	1,911	2,224	1,661	1,703	22,310
	木造数	1,127	1,151	1,098	1,316	1,298	1,456	1,399	1,421	1,391	1,445	1,149	1,174	15,425
	木造率	69.4%	64.1%	59.0%	74.3%	72.8%	68.2%	71.5%	75.3%	72.8%	65.0%	69.2%	68.9%	69.1%
	累計	1,623	3,418	5,280	7,052	8,834	10,968	12,925	14,811	16,722	18,946	20,607	22,310	
28	着工数	1,412	2,007	2,079	1,734	1,857								9,089
	木造数	1,070	1,286	1,639	1,245	1,378								6,618
	木造率	75.8%	64.1%	78.8%	71.8%	74.2%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	72.8%
	累計	1,412	3,419	5,498	7,232	9,089	9,089	9,089	9,089	9,089	9,089	9,089	9,089	

